

直近1ヶ月間の通常流通用抗インフルエンザウイルス薬の供給状況について (2月2日時点)

1. 卸売業者から医療機関・薬局等への供給量(1月6日～2月2日)

- 合計 約496.9万人分
- タミフル 約92.4万人分
(カプセル 約63.5万人分)
(ドライシロップ 約28.9万人分)
- リレンザ 約10.3万人分
- ラピアクタ 約6.3万人分
- イナビル 約123.5万人分
(吸入粉末剤 約123.0万人分)
(吸入懸濁用 約0.5万人分)
- ゾフルーザ 約122.7万人分
- オセルタミビル「サワイ」 約116.3万人分
(カプセル 約89.9万人分)
(ドライシロップ 約26.4万人分)
- オセルタミビル錠「トーワ」 約25.4万人分

2. メーカー・卸売業者の保有量(2月2日時点)

- 合計 約1,149万人分
- タミフル 約238万人分
(カプセル 約100万人分)
(ドライシロップ 約138万人分)
- リレンザ 約127万人分
- ラピアクタ 約13万人分
- イナビル 約471万人分
(吸入粉末剤 約467万人分)
(吸入懸濁用 約4万人分)
- ゾフルーザ 約169万人分
- オセルタミビル「サワイ」 約97万人分
(カプセル 約73万人分)
(ドライシロップ 約24万人分)
- オセルタミビル錠「トーワ」 約34万人分

問い合わせ先
医政局医薬産業振興・医療情報企画課

抗インフルエンザウイルス薬の供給量及びインフルエンザの発生状況

(直近1ヶ月間)

期間	卸売業者から医療機関・薬局等への供給量	インフルエンザ定点当たり報告数	国立感染症研究所によるインフルエンザ感染者数の推計値
1/6～1/12	368万人分	35.02	約145.1万人
1/13～1/19	109万人分	18.38	約64.5万人
1/20～1/26	24万人分	11.06	約38.6万人
1/27～2/2	▲4万人分	5.87	約19.4万人

※ 1月6日から2月2日の卸売業者から医療機関・薬局等への供給量は、約497万人分

※ 2月2日時点のメーカー・卸売業者の抗インフルエンザウイルス薬の保有量は、約1,149万人分

※ ▲(マイナス)は、卸から医療機関・薬局等への供給量に比べ、医療機関・薬局等から卸への返品量が多かったことによるもの。

今シーズンは例年以上に急激に感染が拡大し、一時的に定点医療機関からの報告数で過去最高を記録したほか、長期間の年末年始休暇が重なったこともあり、医療機関・薬局等において、こうした感染状況が一定期間にわたって継続することにも備え、一定の在庫を確保していたことが影響していると考えられる。

なお、返品された製品については、必要としている他の医療機関・薬局等へ供給することで、医療資源の無駄が生じないように努めている。